

事務事業実績測定調書

事務事業名称	保健センター維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市保健所条例・枚方市保健所条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保健センターを利用する市民			
	サブターゲット	保健センター職員			
	ターゲットが抱える課題	健康に関する様々なニーズで保健センターを利用するため、適正に設備・建物の管理をする必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して安全快適に保健センターを利用できる。				
事業概要	保健センターにおける各種事業が円滑に行われるよう設備・建物を適正に管理する。 施設管理に関する委託事業：・清掃委託 ・警備委託 ・冷暖房設備保守点検委託 ・自家発電設備保守点検委託・環境測定業務委託 ・防災設備保守点検委託 ・受水槽、高架水槽清掃委託 その他				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						保健センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検実施件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)					単位	%			単位	件	
		実績											
	達成度					93%				91%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.61
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,785	6,050	4,765		
	会計年度任用職員	1,110	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,895	6,050	4,765		
	物件費計	97,651	53,726	51,910	56,190	92.4%
	歳出計	103,546	59,776	56,675		
歳入	国庫支出金	0	2,952	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	27,300	0	0	0	
	その他	4,528	2,384	67	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	31,828	5,336	67	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	65,823	48,390	51,843	56,190	

5. 総括的分析

総括的分析	開設から35年以上が経過し、建屋や敷地内の老朽化による不具合が相次いで生じている状況。小規模修繕の予算額の確保が求められる状況である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保全計画に基づいた工事の実施を行う。その他、保健所の移転前の、別館エレベーター設置を含むリニューアル工事の設計及び工事を行い、継続的に安全に利用できるよう修繕を行っていく。

事務事業名称	母子保健事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	母子保健法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	妊娠期から就学前の乳幼児			
	サブターゲット	妊娠期から就学前の乳幼児の保護者			
	ターゲットが抱える課題	成長過程で、発育、発達への助言や支援が必要になる場合がある。			
	ターゲットが抱える課題	身近な相談者がいないことにより、保護者が育児不安になるおそれがある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して、子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				
事業概要	①母子健康手帳交付事業:妊娠届出時に「母子健康手帳」等を交付。 ②母子健康教育・相談事業:多様な形態で母子の健康や子育てに関する相談事業及び健康教育を実施。 ③母子訪問指導事業:委託による助産師の訪問と、保健センター保健師等による訪問を実施。 ④乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室):乳幼児健診等の結果、経過観察の必要な幼児と保護者を対象に集団での指導を実施。 ⑤産後ママ安心ケアサービス(枚方市産後ケア事業):家族からの支援が受けられない等で支援が必要な産後4か月未満の母子を対象に、市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイサービス(日帰り型)を実施。利用に際しては、母子保健コーディネーターが妊産婦等の相談を行い、産後ケア事業等の必要な支援につなげる。 ⑥母子保健推進連絡会:母子保健施策の充実・強化及び母子保健施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、関係機関・団体と連絡会を実施。 ⑦出産・子育て応援事業:妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近に相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援(妊娠届出時・出産後に助産師・保健師が妊産婦に面談、妊娠7か月アンケートの実施)を充実し、経済的支援(出産応援ギフト・子育て応援ギフトの支給)を一体として実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				妊婦等が、妊娠届出時に保健相談を受ける。				妊娠届出を受理し、母子健康手帳を発行する。			
指標設定	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式:該当者÷アンケート回答者×100】				妊娠届出時の保健相談実施率 【算出式:妊娠届出時の保健相談回数/妊娠届出数×100】				妊娠届出数			
		単位		%		単位		%		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	2,627	2,551	100	100	2,627	2,551	2,493	2,454
	実績	97.20	97	97		2,509	2,551	100		2,509	2,551	2,423	
	達成度	97%				100%				97%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が相談等を行う。				母子健康教育・相談事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				相談者数				乳幼児健康相談および個別発達相談の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	6,225	6,225	6,225	6,225	341	341	341	341
達成度		97%				38%				84%			
ロジックモデル③		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が保健師等による訪問を受け、相談等ができる。				母子訪問指導事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				保健師等の訪問による、対象者の相談件数				母子訪問指導を実施する、助産師や保健師の人数			
		単位		%		単位		件		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	5,500	5,500	5,500	5,500	46	46	46	46
達成度		97%				114%				102%			
ロジックモデル④		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				対象者が親子教室に参加する。				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施する。			
指標設定④	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)実在籍数				乳幼児健康診査等事後指導事業(親子教室)を実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	184	184	184	184	225	225	225	225
達成度		97%				86%				96%			
ロジックモデル⑤		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				必要な対象者が市内産科医療機関と助産所でショートステイ(宿泊型)、デイサービス(日帰り型)を受けることができる。				産後ママ安心ケアサービスを実施する。			
指標設定⑤	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				産後ママ安心ケアサービス利用延件数				産後ママ安心ケアサービス実施機関数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	200	200	200	200	8	8	8	8
達成度		97%				170%				138%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		安心して子どもを産み、健やかな育児ができ、乳幼児が心身ともに健やかに成長できる。				関係機関・団体との連携が図られる。				母子保健推進連絡会を開催する。			
指標設定⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者 ÷ アンケート回答者 × 100】				参加機関数				実施回数			
		単位		%		単位		件		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	9	9	9	9	1	1	1	1
	実績	97.20	97	97		9	9	9		1	1	1	
	達成度	97%				100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	15.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	6.48
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	176,109	137,545	123,039		
	会計年度任用職員	25,664	23,251	20,358		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	201,773	160,796	143,397		
物件費計	110,916	233,068	161,396	411,262	39.2%	
歳出計	312,225	393,864	304,793			
歳入	国庫支出金	53,204	14,498	188,512	258,469	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	4,345	2,889	23,969	63,375	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)	57,549	17,387	212,481	321,844		
一般財源(物件費に充当されるもの)	52,903	215,681	0	89,418		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止や延期していた事業を感染対策や市民への周知を徹底しながら、予約制や少人数制等運営方法を見直して実施し、また妊娠届の電子申請やオンライン予約、妊産婦のオンライン面談の導入による市民の利便性の向上により、半数以上の事業は目標値を達成できた。活動効果指標である「この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合」にも影響はなく、概ね達成できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、必要な時に助言や支援を受けることができ、安心して妊娠・出産・子育てができるよう取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 344

事務事業名称	身体障害児及び長期療養児等療養指導事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児			
	サブターゲット	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児の保護者			
	ターゲットが抱える課題	児の障害や疾病の状況によって生活上の課題(移動、食事、排泄等)や発達の課題が異なるため、個々にあわせた専門的かつ具体的な助言を必要としている。			
	ターゲットが抱える課題	保護者は介護や通院によって多忙なため、支援サービス等の情報が得られにくい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な助言や情報提供を受けることによって、親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が進められる。				
事業概要	身体の機能に障害のある児及び慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児に対し、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持・増進及び福祉の向上を図る。 内容: 医師、歯科医師、心理相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等による健康診査及び相談を、来所または家庭訪問により実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		親子ともに安心・安全に生活を送ることができ、児の発育・発達が促される。				対象者が健康診査や相談を利用する。				医師等専門職による健康診査及び相談を行う。			
指標設定	指標説明	療育相談利用者の満足度 【算出式: 満足と回答した人 ÷ 利用者 × 100】				療育相談利用者数				療育相談実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		100	100	100	100	100	100	100	100	56	56	56	56
	100	98.60	100		93	72	66		67	54	53		
	達成度 100%				66%				95%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,138	10,607	12,109		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,138	10,607	12,109		
物件費計	517	569	399	842	47.4%	
歳出計	11,655	11,176	12,508			
歳入	国庫支出金	452	434	431	430	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	452	434	431	430	
一般財源（物件費に充当されるもの）	65	135	0	412		

5. 総括的分析

総括的分析	本事業の対象児は、重度の心身障害や免疫低下があり感染症が重症化する児も含まれているため、新型コロナウイルス感染症の流行による利用控えから、令和3年度同様、利用者数は減少している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	国の方針として令和5年度中に新型コロナウイルス感染症の5類移行が決まっており、生活制限の緩和が予測される。引き続き感染症対策、安全対策を徹底し、安心して利用してもらえる体制で実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 727

事務事業名称	予防接種事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち									
	実行計画名	7-1.感染症対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	1951(S26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	予防接種法				
関係補助金名称	定期予防接種(A類疾病)補助金 定期予防接種(B類疾病)補助金 定期接種再接種費用補助金 風しんワクチン等接種事業補助金 高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称	予防接種健康被害調査会				
事業対象	メインターゲット	予防接種対象の市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	感染症の発症リスクを持つ			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に疾病を予防することができ、公衆衛生の向上・健康増進が図られる。				
事業概要	<p>①定期A類予防接種(B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、4種混合、3種混合、ポリオ、麻しん・風しん混合(MR)、2種混合、日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチンに加え、令和元年度から風しんの抗体を持たない男性に対する風しん5期予防接種を開始)委託医療機関にて通年実施。費用:無料。</p> <p>②定期B類予防接種(高齢者インフルエンザは10月1日～翌年1月末まで、高齢者肺炎球菌は通年で委託医療機関にて実施。自己負担:インフルエンザワクチン1,500円、肺炎球菌ワクチン2,000円(免除制度あり))。</p> <p>③任意予防接種:高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成。助成額:3,500円。風しん対策として風しん抗体検査で抗体を保有しない人に対し、風しんワクチン、麻しん風しん混合(MR)ワクチン接種費用の公費助成。自己負担額:風しんワクチン1,000円、麻しん風しん混合(MR)ワクチン3,000円。</p> <p>④予防接種費用償還:取り扱い医療機関以外で接種した場合、償還払い制度あり。</p> <p>⑤予防接種再接種費用の助成</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明		対象者が定期A類予防接種を受ける。				定期A類予防接種事業を実施する。			
	指標種類		MRI期(麻しん・風しん古び)の接種率 【算出式:接種者数÷対象者数× 単位 %				予防接種実施個所数(令和元年134箇所) 単位 箇所			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		95	95	95	95	134	134	134	134
	実績		97	88	99		128	130	138	
達成度		104%				103%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定②	指標説明		対象者が定期B類予防接種を受ける。				定期B類予防接種事業を実施する。			
	指標種類		高齢者インフルエンザ予防接種接種率 【算出式:接種者数÷対象者数× 単位 %				予防接種実施個所数(令和元年218箇所) 単位 箇所			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		50	50	50	50	218	218	218	218
	実績		66	53.55	61		212	219	219	
達成度		122%				100%				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						対象者が任意予防接種を受ける。				任意予防接種への補助事業を実施する。			
指標設定 ③	指標説明					風しん抗体検査で抗体価が低いとされた人の予防接種率 【算出式:接種者数÷対象者数(抗体価が低いとされた人)×100】				風しん対策事業の実施箇所数(令和元年120箇所)			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	120	120	120	120
	実績					77	45.40	79		136	136	135	
達成度						79%				113%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.54
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,710	26,400	15,624		
	会計年度任用職員	888	2,370	1,098		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	47	0	0		
	人件費計	29,645	28,770	16,722		
物件費計	1,113,614	998,932	1,156,094	1,437,872	80.4%	
歳出計	1,143,259	1,027,702	1,172,816			
歳入	国庫支出金	46,494	26,127	24,970	26,934	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置を乗算しています。
	府支出金	108,948	12,383	101,561	116,925	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	155,442	38,510	126,531	143,859		
一般財源(物件費に充当されるもの)	958,172	960,422	1,029,563	1,294,013		

5. 総括的分析

総括的分析	予防接種の対象者に対して、個別通知を行う等きめ細やかな周知を図ったことにより、高い接種率を維持している。令和4年度より積極的勧奨が再開されたHPVワクチンについて、同様に定期接種対象者及びキャッチアップ対象者への個別通知を行い、接種が進んだ。また、定期的予防接種である高齢者のインフルエンザワクチン接種についても、令和4年度は大阪府の補助事業があり接種費用が無料であったことから、接種が進んだ。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	医師会や教育機関等との密な連携のもと、さらに予防接種の啓発活動を充実させ、接種率の維持向上に努める。

事務事業名称	妊産婦健康診査事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	母子保健法				
関係補助金名称	妊婦健康診査補助金 産婦健康診査補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全ての妊産婦			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	妊産婦の健康診査は自費診療であるため、経済的負担がある。予期せぬ妊娠等により経済的にゆとりがない場合、受診が遅れたり受診回数を減らさざるを得なくなる恐れがある。中でも多胎妊娠は、母体への負担と出産前後の合併症のリスクが高く、多胎児は単胎児に比べて低出生体重児や障害児となるリスクが高い。そのため、妊娠管理が重要であることから妊婦健康診査の回数が多くなる。さらに、準備する育児用品が多く、長期入院等で予定外の出費が発生することもあり、単胎よりも経済的負担がある。			
	ターゲットが抱える課題	産後の母体や生活の変化により、心身に不調をきたす恐れがある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	妊娠中から母体管理を行うことで安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				
事業概要	妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券14枚、産婦健康診査受診券2枚、妊産婦歯科健康診査受付票1枚を交付。妊婦健康診査は平成25年度から助成額を増額した(1回目24,780円、4回目9,820円、8回目17,340円、10回目8,140円、12回目11,400円、他5,040円。合計116,840円)。健診内容は、国基準に準ずる。産婦健康診査は、平成29年10月より開始している(1回あたり上限5,000円。合計10,000円)。国の母子保健医療対策総合支援事業(母子保健衛生費国庫補助金)として実施し、健診内容は国の要綱に基づく。母体の健康管理のみならず、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の整備を図る。妊婦健康診査及び産婦健康診査は、大阪府及び京都府内の医療機関、助産所において健康診査受診時に受診券の金額分を助成する。また委託医療機関以外での受診分については償還する。妊産婦歯科健康診査は、妊娠中から産後1年未満の間に枚方市内委託歯科医療機関で無料実施。多胎妊娠している妊婦に、妊婦健康診査受診券を追加で5枚(49,100円分)配付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				アウトプット (活動結果)	妊産婦が経済的不安を感じることなく受診できる。				インプット (活動)	妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊婦健康診査受診券を配付する。			
	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受け取ることができた」と感じる人の割合				妊婦健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数					
指標設定	単位	%				単位	件				単位	件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	91	93	95	97	31,500	30,600	29,900	29,400	2,849	2,773	2,715	2,676		
達成度	95%				100%				97%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				対象者が産婦健康診査を受ける。				産婦健康診査の実施により医療機関等との連携を深め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。			
指標設定②	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受け取ることができた」と感じる人の割合				産婦健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(産婦健康診査受診券等の綴り)配付件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97	5,109	4,825	4,665	4,509	2,849	2,773	2,715	2,676
	実績	88	88.80	89.78		3,947	4,311	4,037		2,734	2,799	2,625	
	達成度	95%				87%				97%			
ロジックモデル③		安全な出産を迎え、産後は産婦が必要とする支援が受けられる。				対象者が妊産婦歯科健康診査を受ける。				妊娠届出時に母子健康手帳などと併せて、妊産婦歯科健康診査受付票を配付する。			
指標設定③	指標説明	「産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受け取ることができた」と感じる人の割合				妊産婦歯科健康診査受診件数				母子健康手帳別冊(妊産婦歯科健康診査受付票等の綴り)配付件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	91	93	95	97	-	832	869	937	-	2,773	2,715	2,676
	実績	88	88.80	89.78		-	840	804		-	2,799	2,625	
	達成度	95%				93%				97%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	16,933	13,556	15,624		
	会計年度任用職員	338	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,271	13,556	15,624		
	物件費計	281,042	287,825	278,756	300,246	92.8%
	歳出計	298,313	301,381	294,380		
歳入	国庫支出金	13,300	11,262	10,863	10,862	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	132	132	132	132	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	13,432	11,394	10,995	10,994	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	267,610	276,431	267,761	289,252	

5. 総括的分析

総括的分析	妊婦健康診査、産婦健康診査、妊産婦歯科健康診査の受診については概ね目標値を達成している。妊娠期からの重層的な支援により、産後の支援の満足度は令和3年度よりも高くなっており、目標は概ね達成できている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、全ての妊産婦が安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 731

事務事業名称	乳幼児健康診査事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1979(S54)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	母子保健法				
関係補助金名称	新生児聴覚検査補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各種健診の対象児 ①乳児一般健康診査(1歳未満)乳児後期健康診査(9か月～1歳未満)②4か月児健康診査(4～6か月未満)、1歳6か月児健康診査(1歳6か月～2歳未満)、2歳6か月児歯科健康診査(2歳6か月～3歳未満)、3歳6か月児健康診査(3歳6か月～4歳未満)③二次健診(発育・発達等経過観察が必要な児)④新生児聴覚検査(生後2日～1か月)			
	サブターゲット	各種健診の対象児の保護者			
	ターゲットが抱える課題	成長過程で、発育、発達の助言や支援が必要になる場合がある。			
	ターゲットが抱える課題	児の成長や発達状況に応じた、育児や発達のアドバイスを必要としている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				
事業概要	①個別健診(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査) ②集団健診(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、集団健診未受診児に対して健診案内の再通知及び保健師による家庭訪問の実施 ③二次健診(健診A・B、眼科健診):①②の健診等でさらに専門的な診察が必要な児に、保健センターにて予約制(無料)で実施 ④新生児聴覚検査(平成30年10月から開始、令和2年度から、再検査となった児を対象として、再検査費用を助成)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が個別健診を受診する。				個別健診を実施する。			
指標設定	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				後期健診受診者数				後期健診受診券の発行			
		単位		%	単位		人	単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	2,569	2,495	2,438	2400	2,569	2,495	2,438	2400
達成度	97%				95%				101%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (4か月児健康診査)			
指標設定②	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	39	42	42	42
達成度		97%				98%				98%			
ロジックモデル③		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (1歳6か月児健康診査)			
指標設定③	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	37	40	40	40
達成度		97%				97%				110%			
ロジックモデル④		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (2歳6か月児歯科健康診査)			
指標設定④	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	36	41	41	41
達成度		97%				85%				95%			
ロジックモデル⑤		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が集団健診を受診する。				集団健診を実施する。 (3歳6か月児健康診査)			
指標設定⑤	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				乳幼児健康診査の受診率 【算出式: 受診児数÷対象者数×100】				対象人数に応じた、実施回数。			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	38	42	42	42
達成度		97%				89%				102%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が二次健診を受診する。				二次健診を実施する。			
指標設定⑥	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				受診率 【算出式: 受診者数/案内発送数×100】				対象人数に応じた、二次健診の実施回数			
		単位		%		単位		%		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	52	52	52	52
	実績	97.20	97	97		92.80	90.30	92.70		45	48	48	
達成度	97%				93%				92%				
ロジックモデル⑦		保護者が安心して子育てが出来、乳幼児が心身ともに健やかに成長する。				対象者が新生児聴覚検査を受診する。				新生児聴覚検査を実施する。			
指標設定⑦	指標説明	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合 【算出式: 該当者÷アンケート回答者×100】				新生児聴覚検査受診者率 【算出式: 受診者数/出生数×100】				受診券配付数(母子健康手帳発行数)			
		単位		%		単位		%		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	2,857	2,781	2,723	2,454
	実績	97.20	97	97		91.70	92.10	92.30		2,734	2,551	2,625	
達成度	97%				92%				96%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	10.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	7.22
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考) R4予算額	(参考) 予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	75,999	68,090	80,776		
	会計年度任用職員	21,081	25,069	22,997		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	97,080	93,159	103,773		
	物件費計	73,071	57,898	60,923	67,977	89.6%
歳出計		170,151	151,057	164,696		
歳入	国庫支出金	11,023	0	225	224	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	11,023	0	225	224	
一般財源(物件費に充当されるもの)		62,048	57,898	60,698	67,753	

5. 総括的分析

総括的分析	乳幼児健康診査の受診率がすべての健診において増加し、新型コロナウイルス感染症流行前の受診率に近づきつつある。 令和4年度は、感染症対策を講じながら、受診時期の遅延が懸念される集団健診を中心に、回数を増加し、適切な時期での受診確保に努めた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、受診率が減少傾向にあった乳幼児健康診査について、健診受診の啓発とともに、家庭訪問等を通して保護者の不安感に寄り添った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も安心して子育てができるよう、必要な健診回数を確保し、乳幼児健康診査を実施していくとともに、令和6年度開設予定の③街区での乳幼児健康診査の円滑な実施に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 921

事務事業名称	母子保健課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	母子保健課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	母子保健課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各種事業を適正かつ市民のニーズに応えるべく実働する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	母子保健課所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	3.73
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,883	7,464	19,139		
	会計年度任用職員	6,422	10,458	10,108		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,305	17,922	29,247		
	物件費計	6,060	3,770	2,062	2,362	87.3%
	歳出計	24,365	21,692	31,309		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	6,060	3,770	2,062	2,362	

5. 総括的分析

総括的分析	毎日の朝礼、夕礼、毎月の課内会議にて、職員間の情報共有を行い、母子保健担当の業務を円滑に実施できる体制を維持している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	毎日の朝礼や夕礼、毎月の課内会議の他、グループウェアの積極的な活用による情報共有を行う。またペーパーレス化やDXの取り組みを進め、効率的に業務が遂行できる体制を構築していく。